

第16回 議会運営委員会記録

- 1 日 時 令和4年10月13日(木) 午後2時00分 開会
- 2 場 所 議会委員会室
- 3 出席委員 8名
- | | | | |
|---------|---------|-----|---------|
| 委員 長 | 霜 鳥 榮 之 | 委 員 | 阿 部 幸 夫 |
| 副 委 員 長 | 関 根 正 明 | 〃 | 村 越 洋 一 |
| 委 員 | 高 田 保 則 | 〃 | 天 野 京 子 |
| 〃 | 岩 崎 芳 昭 | 〃 | 渡 部 道 宏 |
- 4 欠席委員 0名
- 5 欠 員 0名
- 6 職務出席者 1名
- | | |
|-----|---------|
| 議 長 | 佐 藤 栄 一 |
|-----|---------|
- 7 説明員 0名
- 8 事務局員 2名
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 事 務 局 長 | 阿 部 光 洋 | 庶 務 係 長 | 霜 鳥 一 貴 |
|---------|---------|---------|---------|
- 9 件 名
- (1) こども議会の今後の進め方などについて
 - (2) その他

○委員長（霜鳥榮之） ご苦勞様です。ただいまから議会運営委員会を開会いたします。佐藤議長。

○議長（佐藤栄一） ご苦勞様です。本日は、こども議会の運営について、ご協議いただきしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

(1) こども議会の今後の進め方などについて

・当日スケジュールと役割分担（案）

○委員長（霜鳥榮之） それでは、レジメに従いまして、1) こども議会の今後の進め方などについて、協議したいと思います。皆さんお手元に資料も行ってますけども、きょうは大まかにといいながら、かなりのところを決めていきたいなと思っております。中学校のほうも準備が進んでいるようでございますので、その辺のところも時折中身を混ぜながらいきたいと思います。それでは資料1をご覧ください。まず、当日スケジュールや役割分担（案）について、たたき台ですので、これは皆さんと相談しながら決めていくということです。先日の10月6日の全協でも、こども議会について議論が交わされたところですが、それらを含めて、また皆さんと改めて検討していきたいと思います。学校側の動きとも合わせながらもっていきますけども、最終的には学校側の中身、これからの話ですけども、それも合わせてやっていきたいと思います。それでは、まず1番のスケジュールについてであります。これは私のほうで読んだほうがいいのか。①から⑧まであります。ざっと読みますけど、一つずつまとめていきたいと思います。①②は、生徒、役員到着の問題、議場に入場の問題。で③に議長挨拶行って、④議運の委員長が全体の

流れを説明しながらリハーサルやると。⑥は、本番に入ってから動きであります。で、⑦については、すべて終わった時点で記念撮影をやって、⑧では意見交換をやるという予定でいます。それでは、①の生徒が市役所に着いて、5階へ行って控え室は501会議室で打ち合わせ。それから②の議場に入場。③の議長挨拶この辺まで、まとめた形の中で皆さんと意見交換したいんですが、何かございましたらお願いしたいと思います。

○渡部委員 前回コンサートやったときに、保護者っていいですかね。父兄の方々やなんかもね、どっかから情報を聞きつけて、あの時は来られたと思うんですけども。今回はなしということによろしいですよ。

○委員長（霜鳥榮之） ちょっと待ってね、ここにあるかな。保護者もあります。で、最初に今言いましたように、生徒が議場に入ってリハーサルやっというのありますけども、④までですね、④までがリハーサルの絡みです。で、⑤で休憩を挟んで、そのあと、本番に入る前に、傍聴席も入ってもらっというパターンになります。

○渡部委員 見学者ね。

○委員長（霜鳥榮之） それで下のほうに2番で役割分担っていうのがありましてね。②に生徒誘導、③に議員誘導、④に傍聴席誘導っていうのも絡んできます。従って一つ一つこう決めてくんだけど最終的には、また上行ったりし下行ったりっていう、中身的にはね、行ったり来たりって話になりますけども、そのようなことでまず認識をしていただきながら、とりあえず③までの流れでもってどうだろうかということ。いいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（霜鳥榮之） はい。じゃあこのような形で、役割分担を決めたときにまた絡むかもしれませんので、その時はまたです。④については、私のほうで、生徒はちゃんと席に着いてますんでね、これ全体の流れを説明しまして、それで確認。大体20分くらいかなっていうふうには踏んでおります。そんなことでそれが終わったら、⑤でもって休憩10分ほどという形になります。で、この⑤の休憩のときに、一般見学者傍聴席入場って、こういうのが絡んできます。⑥では、改めて生徒が入ってきてっていうことにもなりますけども、本番になります。本番のところでは、それぞれに、下の②のところに役員の役割分担あるんですけども、それぞれの担当を決めていただいて、案内していただいて、それぞれの席に座ってもらっというの。これはリハーサルのときに決めてしまいますんでね、ここはスムーズにいくかと思います。本番の中では、まず、生徒の質問があって再質問があるってということでやりとりしますけども、ここが、皆さんからあった、一番ありました、質問のやりとりの関係なんですけども、ここが一番、意見を交わして、まとめておこなきゃいけない場所なのかなというふうに思います。ここまでの間で、⑥に関してそれぞれ意見交換したいと思います。それぞれにお願いいたします。

○岩崎委員 生徒からの質問の通告はいつまでにこちらに届くんですかね。

○委員長（霜鳥榮之） はい。質問通告については、10月31日を締め切りとしております。従ってそこでもって締め切った時点で、私たちはもう一度ここでの打ち合わせ会議やらなきゃいけないかなと。それで、それぞれ所管の振り分け、そういうのをやりながら、その中身の組み立てなんかも、とりあえずはここでもって振り分けやって、で、それぞれ今度は委員会の中でもって、具体的に詰めてもらおうという、こういう形になろうかと思っております。

○村越委員 これ開催日時13時40分から15時30分というふうには書いてあるんですが、この1番のスケジュールで今ご説明いただいているんですけど、このそれぞれの時間、タイムスケジュールというか、何時から、この①②③になるのか、もしわかればちょっと教えていただきたいんですけど。可能ですか。

○委員長（霜鳥榮之） 暫時休憩します。

休憩 午後2時16分

再開 午後2時24分

○委員長（霜鳥榮之） それでは休憩を解いて会議を続けます。はい。他にご意見等どうですか。

○渡部委員 一般見学者の方々なんですけども、前回議場でコンサートのときも、傍聴席、自分たち、いいとこ取りたいので、何か、ちょっともめてたことありまして。それを整理するために、入ってきた方から、もうとにかくこの席に座ってくれというふうに位置付けて、前から詰めてくださいっていうんでなくて、もうとにかくね、来た人から入れないと。途中でね、あっちのほうが良く見えるわって行って、ばばばって移ったりするんですよ。そこだけちょっと、ルールとして、とにかく入った人はその席に決まるんだということをしていただけるとありがたい。

○委員長（霜鳥榮之） はい。そういうことも、前回のことを含めてそういうことも想定しながら、レジメ裏面の資料1のところの2番、④では誘導係を、そういうことがきちんとできる人から、ここへ入ってきてもらって、はい。

○渡部委員 前回の議場でコンサートのときは、私ともう1人で、2人で一生懸命誘導したんですけども、私たちの言うことは聞かないんですね。自分の子どもかわいいから、一番見やすいところにどンドンどンドン移るんですよ。ですんで。

○岩崎委員 席に番号振ったらどうか。整理券の番号と席の番号を同じことにして…。

○渡部委員 そうしていただくと助かると思うんですよ。誘導係の方。

○天野委員 そうしましょう。

○委員長（霜鳥榮之） 役割分担またあとでもって、ここへ入っていただきたいと思ってますけど。はい。他にどうですか。暫時休憩します。

休憩 午後2時33分

再開 午後2時41分

○委員長（霜鳥榮之） 休憩を解いて会議を続けます。それでは、それぞれの席順の問題もありますけども、役割分担との絡みもありますので、2番目の役割分担のここに入りまして、トータルでもって意見交換をしていきたいというふうに思います。2番の①に、リハーサルの関係含めて全体の進行は私のほうで進めると。で、その中でまた細かなことあとで入ります。それから、②生徒の誘導、③で議員誘導、④で傍聴席、一般客の誘導ということで、それぞれの役割分担で入ってもらって、お手伝いをさせていただきます。その絡みがありますので、議員の皆さんの席順については、委員長の後ろに、副委員長の席を設けましたけども、議運のメンバーの皆さんの出入りの関係がありますので、出入りしやすいようにってということで、厚生文教では八木さんと関根さんの席替え、それから総務委員会では、小嶋さんと天野さんの席の入れ替えということでもって、席順を決めていきたいというふうに思います。それで、生徒の誘導と、議員の誘導、傍聴席誘導、先に皆さんと意見交換して決めてしまいたいなというふうに思いますが、この点についてもし、私がこうだよってということがあれば、それぞれ申し出ていただいていいんですが、いかがでしょうか。生徒の誘導については、役所に到着した時点、それから休憩室というか、部屋に入って、それから議場に出たり入ったり、リハーサルのね、出たり入ったり、この辺のところも絡みますので、それをお願いしたいと思います。議員の誘導というのは、ここから、我々なんだけども。ここから委員会ごとにとまって、この議場に入ってもらうような形で。まあ先頭にいる人が、後についてってもらえればいいかな。

○渡部委員 役割いらんんじゃないかな。

○関根委員 全員座ってるって形なんですよ。

○岩崎委員 事前に決まっているわけだから、自分席、わかるわけだからね。いらんでしょ。

○委員長（霜鳥榮之） 生徒が入る前に我々が先にすぐ座っちゃうという形になりますんでね。それから、一番大変なのはやっぱり傍聴席の誘導です。先ほどありましたように。慣れたとこで…。もしあれだったら、ここはじゃあ2人じゃなくて3人にするとかっていうのも。それもありません。生徒の誘導はじゃあ、これは2人くらいっていう形でもって。これは委員長さんもちっとお手伝いしてもらわんといけないんで。

○関根委員 振り分けてもらえればいいんじゃないの。

○委員長（霜鳥榮之） いいですか。暫時休憩します。

休憩 午後2時44分

再開 午後2時48分

○委員長（霜鳥榮之） 休憩を解いて会議を続けます。それでは役割分担の関係で、生徒の誘導についてが、関根副委員長と、岩崎総務委員長、村越厚生文教委員長の3人で対応してください。それから、議員の誘導は特には役割としては入れないで、皆さんそれぞれに自主的に動いていただきたいと。それから傍聴席の誘導については、阿部委員長と天野委員と渡部委員の3人で、下のエレベーターの乗り口は看板のみで、降りたところで誘導、それから、傍聴席入ったところでもって、順番札っていうか席札を渡してそれぞれの席にちゃんと案内してやるということで、先ほどありましたように、途中でもって席替え云々とかっていうのは、その番号札でもってきちんと抑えて、移動はなしということで改めてやってもらうという形でもって席順についてはやっていきたいと思います。

○岩崎委員：子どもたちは、議席の番号とかって事前にもらえるんですかね、指定するんですかね。

○委員長（霜鳥榮之） この席次表が学校へ行ってるんですよ。学校のほうでは、当日までにリハーサルも1回やりするっていうのがありますんで、その時に、この席次はみんな決まると思うんですよ。で、前もって決めてもらわないと、こっちのやりくりもね。その場でもって、あっちだこっちだってそういうあれは、あまりしたくないっていう。そんな形にしたいと思います。あとは、私のほうでなんだけど、流れの中ではいいんだけど、終わってからの記念撮影、どういう形だったらいいかなっていうのは、ちょっとイメージわいてないんだけど、暫時休憩します。

休憩 午後2時48分

再開 午後2時52分

○委員長（霜鳥榮之） 休憩を解いて会議を続けます。写真の撮り方なんですけど、議員席のところの調整でもって、生徒がそこに座っている。それから、議員席の後ろに座っている生徒さんからは、発言席の脇っていいですかね、そこへ出てきてもらって、発言席のところには、議長、局長にね、座ってもらうというパターンで。前もってリハーサルをやったときに、時間の調整でもって、そこでもって座って、その時点でもう記念写真を撮ってしまうということで、先に記念写真を撮るということでもって進めたいと思います。段取りの関係では、そのような形っていうことになりますけども、それ以外に、今度は実際中身の問題なんですけど、本番の関係で、質問、再質問のやりとり、この辺でもって皆さんの納得のいくような形を作りながら進めていきたいというふうに思いますけども、その点で何か。それこそ委員長の皆さん、いかがですか。

○阿部委員 欲を言えばですね、前段で、もう質問されて答弁するわけですし。それによつてはですね、委員のほうも、逆に言えば、答弁内容を聞いたほうもですね。次何を質問したらいいかというのは、薄々子どもたちもある程度は読めると思うし、そこらへんのさわりだけでもですね、委員長のほうに、こういうことで質問あるよということぐらい、いただければ非常にありがたいと思います。

○委員長（霜鳥榮之） はい。そこまでできるだろうかね。ちょっと面倒かなというふうに思います。それで、面倒かなということよりも、その前段でもって質問もって、答弁書を作るときに想定されるようなものは、いくつか作って。例えばなんですけど、質問が一つだったら、委員長でもって、この系統でもって質問来たら、副委員長にお願いよとかっていうのもあっていいかなと。それぞれの質問内容によってね。だから、まるっきり委員長に任せでもって、みんなお客さんになってるんじゃないかと。副委員長もそこでもって絡んで、一言答弁するとかっていうのもあっていいんじゃないかなと。その辺のところも、委員長副委員長、或いはその、もう一人くらいを含

めた中でもって、ちょっと確認して答弁するってこともあってもいいんじゃないかなというふうに私は思ってますけども。相談しなくてもできるのはそのままやってもらって、ちょっと相談したいって言った時には、ちょっと打ち合わせ、打ち合わせっていうことじゃないけどね。ちょっとやりとりしてっていう、こういうのもあってもいいんじゃないかなと私は思ってますけどもその辺はいかがですか。

○岩崎委員長 一つの班の持ち時間は10分なわけだから、その中でとなると、そんなに再質問やる時間はない。それで、本来であればね、事前に再質問の項目くらいだけでも前出ししてもらえると助かると思うね。時間もったいないし。

○委員長（霜鳥榮之） 質問の本題が来れば…。

○天野委員 持ち時間10分だと思うんですけど、これ、時間なるとブザー鳴るじゃないですか。あれは採用しますか、今回。そうすれば、もう時間切れってことで終わるけど、終わらない場合も考えられます。だったらブザー鳴るまでが10分ならば、10分で組み立てるっていうことも必要かなと思いますし、時間切れならもう終わりっていうふうになります。

○岩崎委員 表示板を使ってね。

○天野委員 そう。

○委員長（霜鳥榮之） 学校のほうでね、私、個人的になんですが。学校のほうで、それまでに、全部できた時点でリハーサルをやって、それからこっちへ入ってくるっていう予定もあるようですんで、だからそのリハーサルの時に、副委員長と一緒に学校へ行って、そのリハーサルの中でその辺のところを、時間の関係なんかもね。或いは質問のやりとりの関係なんかもね、若干そこでもって、やれば、その辺の話もしてこれるかなっていうふうに思っています。おそらく、時間表示そのものについてもね、残り時間、残時間表示になってるっていうことだって、子どもたちは認識していないだろうと思うんですね。その辺のところも話をしながら、10分の設定だと10分のところで時間切れればブザーが鳴るよと。これは、ちゃんと話をしてくる。従ってこちらの答弁のほうも、答弁者のほうも時間を無駄に使わないようにっていうことですね。ここと一緒に答弁の最中に、時間来たっていったらその答弁が、ちゃんと終わるまで、その時間は、延ばしたって仕方ないよね。時間ですって、ここで切るのは、それこそ失礼だと思うんだよね。そんな形で持っていければというふうに思ってます。あとはどうですか。何かあったら、一応課題として、こうだこうだって想定されるの皆さん、ちょっと出しといてください。

○村越委員 議員役というか、生徒さんたちは、一応原稿を作ってきて読まれるんだと思うんですけど、その時間っていうのは何か、おおよそどれぐらいとかってのはあるんですよね。それが長いか短いかで、かなり変わってくると思いますし、一般質問的にもしかしてね、長く原稿作ってくれば、10分なんてすぐなっちゃうのかなというふうに思うんですが、そこらへんの注意点みたいなあるんですよね。

○委員長（霜鳥榮之） 先日伺ったときには、一つの項目でもって、二分か三分かって話してました。そんなに無駄な話はしないと。ただ、直接的にこれどうだっていうんじゃなくて、やっぱりこれはって言った時に、背景、経過云々っていうのも、織り交ぜしながら、これどうだっていう形の組み立てをしたいんだということでもって、我々がやってる本番の原稿を、参考として、活字に起こして、それに基づいて、こんな形でみたいな話もしていました。おそらく、だから今月月末に原稿くれば、そういう形でもって、組み立てになってんだらうと。だから表題があって、言い分があって、その中に、質問が一つになるか、二つになるかというような形でもって、組み立てしてくれというようでございます。月末来れば、ものが来れば、その辺読めるんで、あと、だから、再質問についてだって、結局これやったらどういふ答弁が返ってくるか、彼らは想定できないっていうふうに思うんですけども、そんな中でもって、もしこれには、最初の時間が制約されてるっていう形になるんで、再質問については、これとこれとこれは確認できましようかね、みたいな相談はしてくるんじゃないかなというふうに思われます。そんなことも含め

て、学校のリハーサルにはその流れの関係もあったりするんで、また、やりとりしながら、行って確認してこれればいいかなというふうに思っているところです。他にどうでしょうか。流れとしては、今日もし課題があればみんな出しといてもらって、月末に通告がまとまったものがきますんで、来月入ってから、時間見て、もう一度この会議を持って、ほんで委員会ごとに答弁書をまとめてもらって、その答弁まとまった時点で、もう一度やらなきゃいけないだろうというふうに思います。大体そんなスケジュールになるかなって、日程はちょっと組めないですけどね。かなというふうに私は、想定はしてますけども。関根副委員長、何かある。

○関根委員 いや、特に。

○委員長（霜鳥榮之） はい。今日特になければ、気づいたときに、課題は、それまでにまた随時申し出ていただいってというふうに思います。で、できればこの次の議運の日程、これからだんだん忙しくなってきますんで、その辺の日程調整をしたいと思います。暫時休憩します。

休憩 午後2時56分

再開 午後2時59分

○委員長（霜鳥榮之） 休憩を解いて会議を続けます。いろいろと忙しくなってきますけども、それぞれの日程の都合がありまして、31日に学校のほうからの通告書が届くと。で、そのあと日程の関係がありまして31日の午後3時くらいから、3時からですね、議運を開いて内容を確認するというだけでもって、それに間に合うように学校にもお願いして調整していくというふうにしたいと思います。従って31日の3時から、所管の振り分けというような形でもって、また皆さんと意見交換をしていきたいというふうに思います。はい。その他に皆さんいかがですか。特段なければ、この辺でというふうに思いますけども、先ほど申しましたように、途中でもって、もしこういうの、ああいうのってありましたら、また中間でも言っていただいて、納めていければというふうに思いますので、そのような予定でお願いしたいと思います。特段なければ、これで閉会としたいと思います。はい。どうもありがとうございました。ご苦労さまでした。

閉会 午後3時01分